

取扱説明書

【お客様用】

ハマネツ 屋外トイレユニット

TU-L3F4W・CTLF4

ポンプ式簡易水洗仕様

このたびは、ハマネツ屋外トイレユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。


(取扱説明書は、必ずお客様にお渡してください)


誤った使い方で生じる内容を次のように区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負う恐れがある」内容

 **注意** 「軽傷を負う、または物的損害を受ける恐れがある」内容

お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと

 しなければならないこと

本製品のご使用前にこの説明書および付属の説明書に記載されている内容をよく読み、正しく安全にご使用ください。

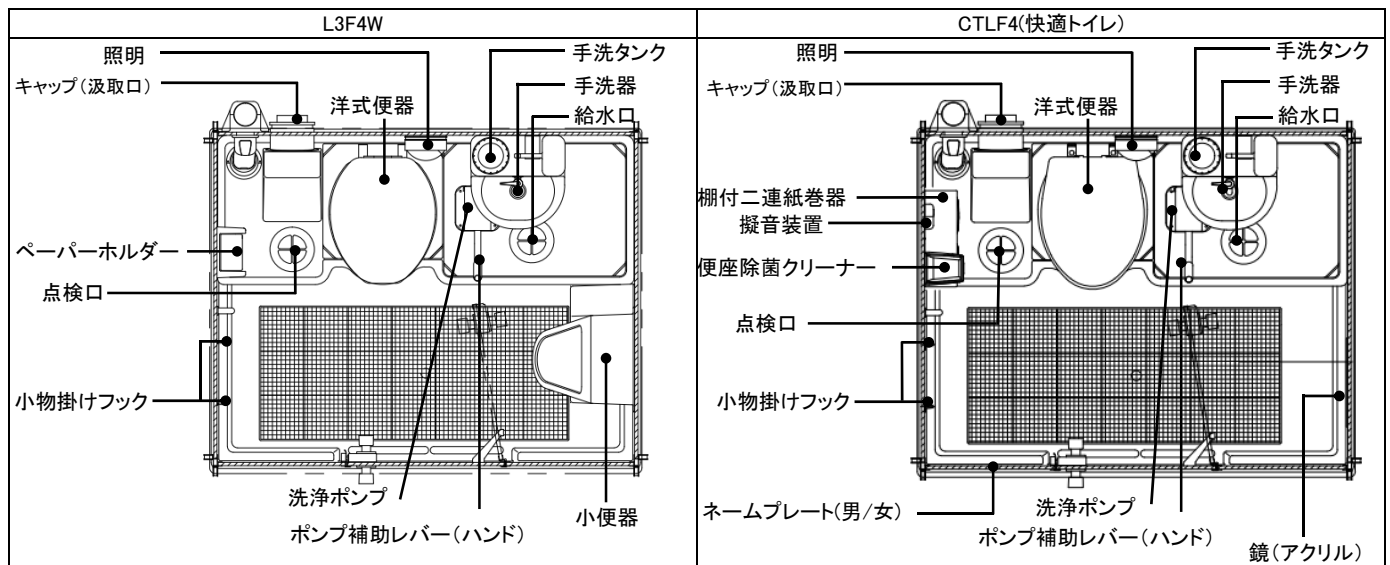
この取扱説明書は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

Hamanetsu

目次

| | |
|--------------------|----|
| 1.各部名称 | 2 |
| 2.使用上の注意 | 3 |
| 3.使用方法 | 5 |
| 4.お手入れ方法 | 9 |
| 5.仕様 | 10 |
| 6.故障かな?と思ったら | 10 |
| 7.保証規定 | 11 |

1.各部名称



「快適トイレについて」

国土交通省にて、建設現場を男女ともに働きやすい環境とする取り組みを進めております。その一環として、男女ともに快適に使用できる仮設トイレを「快適トイレ」と名付け、平成 28 年 10 月 1 日以降に入札手続きを開始する土木工事から導入されています。

1.快適トイレに求める標準仕様

- (1)洋式便器 (2)水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置を含む) (3)臭い逆流防止機能
- (4)容易に開かない施錠機能 (5)照明設備
- (6)衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚 (耐荷重を 5kg 以上とする)

2.快適トイレとして活用するために備える付属品

- (7)現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8)入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等)
- (9)サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10)鏡と手洗器 (11)便座除菌クリーナー等の衛生用品

「1.快適トイレに求める標準仕様」、「2.快適トイレとして活用するために備える付属品」については、快適トイレとして現場に導入するにあたり、必ず備えるものとなっております。


出典:国土交通省ホームページ

※快適トイレについての詳細は国土交通省のホームページ又は直接国土交通省までお問い合わせください。












2.使用上の注意

下記の項目を怠ると傷害事故、器物破損の恐れがあります。









警告 ①火災・感電・漏電による傷害事故・器物破損防止

-  電気機器に水や殺虫剤等をかけないでください。



警告 ②移動・輸送について

-  道路交通法を遵守してください。
-  トラックの荷台等への積み降ろしはクレーン、フォークリフト、昇降装置等を使用して有資格者が作業してください。
-  輸送する際は必ずトイレユニットをトラックの荷台に固定してください
-  都度積載状況を確認し、トイレ本体や部品等が転倒、落下しないよう、必要な安全策を実施してください。
-  ドアが閉まっていることを確認し、ドアが開かないよう、必要な安全策を実施してください。
-  部品やねじ等が緩んだり外れたりしていないことを確認してください。
-  手洗タンク内を必ず空の状態にしてください。
-  周囲の安全(人がいないことや器物等がないことの確認や必要な保護、防護)を確保してください。
-  持ち上げたり下ろしたりする際は、強い衝撃を与えないようにゆっくりと作業してください。
-  弊社が推奨するもの、方法以外で製品室内への同梱輸送をしないでください。
-  必ず屋根を閉め、屋根留金具(パチン錠)で屋根を固定してください。

警告 ③設置・気象条件等による傷害事故・器物破損防止

-  トイレユニットは必ず軽トラックに積載し、水平で平らな場所に設置してください。
-  軽トラックに積載する際は、荷台の床面地上高 715mm 以下の車両を使用してください。
-  軽トラックに積載する際は、トイレユニットの入口が車両進行方向に向かって左側になるように積載してください。
-  設置、保管する際は、強風等によって移動したり転倒したりする恐れがあります。転倒防止策を施してください。
-  危険が予想される場所(火気等)の近くには設置しないでください。また、火気を近づけないでください。
-  台風等気象条件が悪い場合は、気象条件に合わせた防護策を施してください。
-  積雪には対応しておりません。屋根等に雪が積もった場合は、速やかに雪下ろしを行ってください。
-  凍結の恐れがある地域の場合は、現地にて必要に応じて凍結防止策を施してください。

警告 ④吊り上げ作業による傷害事故・器物破損防止

-  必ず有資格者が行き、吊り上げに関わる法令・規則・安全に関わる作業指針等を遵守してください。
-  周囲の安全を確認の上、作業を行ってください。

- ⊘ トイレユニット内に人がいる、または固定されていない部品がある等「危険が想定される」状態での吊り上げ作業は、絶対に行わないでください。
- ❗ 吊り上げ前に、吊り具や周辺のパネル等に緩みや破損等の異常がないことを確認してください。
- ❗ 本体に取り付けられている中心より高い位置にある金具を使用して、必ず4点で均等な状態で吊り上げてください。
- ❗ 吊り上げる場合は、ワイヤーやスリング等が屋根に干渉し、傷つく可能性があります。必要に応じて吊り上げ治具の用意や養生を行い、ワイヤーやスリング等と屋根が干渉しないように吊り上げを行ってください。
- ⊘ 吊り上げ機能を有していない重機等は使用しないでください。
- ❗ ドアを閉め、屋根留金具(パチン錠)で屋根を固定していることを確認し、手洗タンク、給水タンク、便槽は必ず空の状態にしてください。
- ⊘ 積載型トラッククレーン等の急な動作や旋回により、吊り荷へ負荷や衝撃等を与えないでください。

⚠ 警告 ⑤外壁面加熱による傷害事故防止

- ❗ 太陽熱により外壁面やドア外面、金属部分が高温となる場合があります。素肌での接触に注意してください。

⚠ 注意 ⑥その他傷害事故・器物破損防止

- ⊘ 洗浄水は飲用ではありません。飲んだり、口に含んだりしないでください。
- ❗ 給水タンク、手洗タンク内の洗浄水は常に清潔な状態に保ってください。
- ❗ 洗浄水には水道水または水道水同等水質の水を使用してください。
- ⊘ 井戸水は使用しないでください。詰まり等の原因になります。
- ⊘ 室内、便器等に物を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ❗ 使用後は汚物やトイレトペーパーが詰まらないよう洗浄してください(小便器は除く)。
- ❗ 消臭剤、凍結防止剤、殺虫剤などを使用する際は、それらの取扱説明書に従ってください。
- ❗ うじ殺しなどの殺虫剤は給水タンクへは入れず、便槽内に直接添加してください。
- ❗ 便槽が満水になる前に汲取り清掃をしてください。汲取り清掃は許可された清掃業者へ依頼してください。
- ⊘ 洗浄ポンプが凍結した場合は完全に解凍するまで踏み込んだり、熱湯をかけたりしないでください。
- ⊘ 小物掛けフックに耐荷重以上のものを掛けないでください。※耐荷重 5 kg(CTLF4のみ該当)
- ⊘ 棚付二連紙巻器に耐荷重以上のものを置かないでください(CTLF4のみ該当)。※耐荷重 2kg
- ⊘ 鏡の表面に傷を付けないでください。時間がたってから自然に割れることがあります(CTLF4のみ該当)。
- ❗ 使用前後にねじ類(ねじ、蝶ねじ、ボルト)を確認し、緩んでいる場合は増し締めを行ってください。
- ❗ 塩害や酸性雨、薬品等、使用環境によっては金属部品が短期間で腐食する場合があります。必要に応じてメンテナンスを実施してください。
- ❗ 強風時にドアを開閉する際、ドアの破損やケガをしないように注意してください。
- ❗ トイレユニットを使用する際は、必ず付属のタラップを使用してください。
- ❗ トイレユニットを使用する際は、屋根を開け、屋根前部に頭をぶつけないように注意して入退室してください。

3.使用方法

I 洗浄について

○ご使用前の準備

①給水口から洗浄水を入れてください。

※給水タンクの容量は 40ℓですが、給水タンクには手洗水が流入し再利用されるため、満水にはしないでください。

※適正給水量はお客様の手洗水・洗浄水の利用頻度により異なりますので、注水量に注意してください。

②室内の洗浄ポンプを数回操作し、便器の吐水ノズルから洗浄水が出ることを確認してください。

※洗浄ポンプが水を汲み上げない場合は給水タンクに洗浄水を追加投入してください。

○ご使用方法

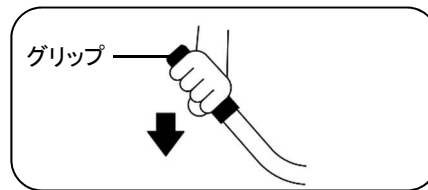
洋式便器について

・洗浄ポンプに装着されているポンプ補助レバー(ハンド)を操作すると洗浄水が流れます。

下記操作方法に従い洗浄水を流してください。

・グリップを握り、矢印の方向へ押し込むと一定量(約 250ml)の洗浄水が流れます。

※グリップを矢印と反対の方向へ持ち上げると破損の原因となりますので絶対に持ち上げないでください。



ポンプ補助レバー(ハンド)

・ポンプ補助レバーの操作を勢いよく行くと洗浄水が便器外に飛び出す恐れがありますので注意してください。

小便器について(L3F4Wのみ該当)

・小便器は非水洗仕様となっております。小便後、無水式のトラップを通過した後、ホースを介して便槽に入ります。

手洗器について

・手洗器上部の手洗タンクのコックレバーを手前に回すとコックから洗浄水が出ます。

・手洗に使用された洗浄水は給水タンクに入り、汚物を流す洗浄水として再利用されます。

・使用後はコックレバーを確実に戻し、洗浄水が止まったことを確認してください。

・手洗タンクに給水する際は、コックレバーが閉まっていることを確認してください。

・長期間使用しない際は手洗タンクが膨らむことがありますので、コックレバーを開けたままの状態にしてください。

II 便槽、給水タンクについて

○洗浄水、消臭剤、凍結防止剤の充填

・消臭剤、防臭防虫剤及び凍結防止剤をご使用の際は洗浄水と同様に給水タンクに充填してください。

※手洗タンク内に洗浄水以外のものを入れしないでください。

・便槽へ消臭剤や防臭防虫剤を添加する際は室外後部のキャップ(汲取口)または室内点検口より充填してください。

警告 消臭剤及び凍結防止剤による傷害事故防止

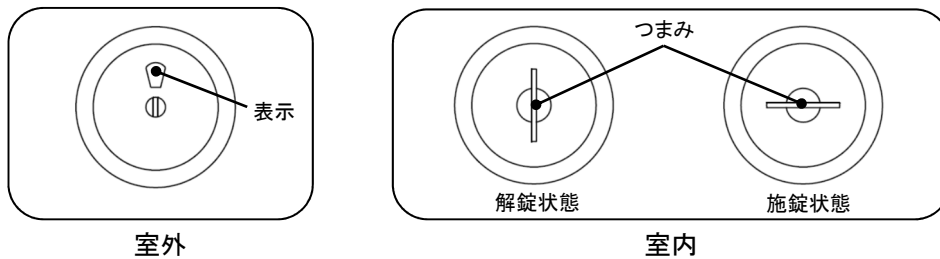
❗ ご使用の際は、必ず取扱説明書に従ってください。消臭剤及び凍結防止剤は飲用ではありません。

○汲取り清掃

- ・汲取り清掃は必ず室外後部のキャップ(汲取口)を外してから行ってください。
- ・便槽内の汚物汚水の量は室外後部の汲取り口または室内点検口から目視確認してください。
- ・便槽の容量は満水で120ℓです。
- ・便槽が満水になる前に、許可された清掃業者へ汲取り清掃を依頼してください。
※許可業者については製品のご使用場所の市区町村へお問い合わせください。

Ⅲドアの使用について

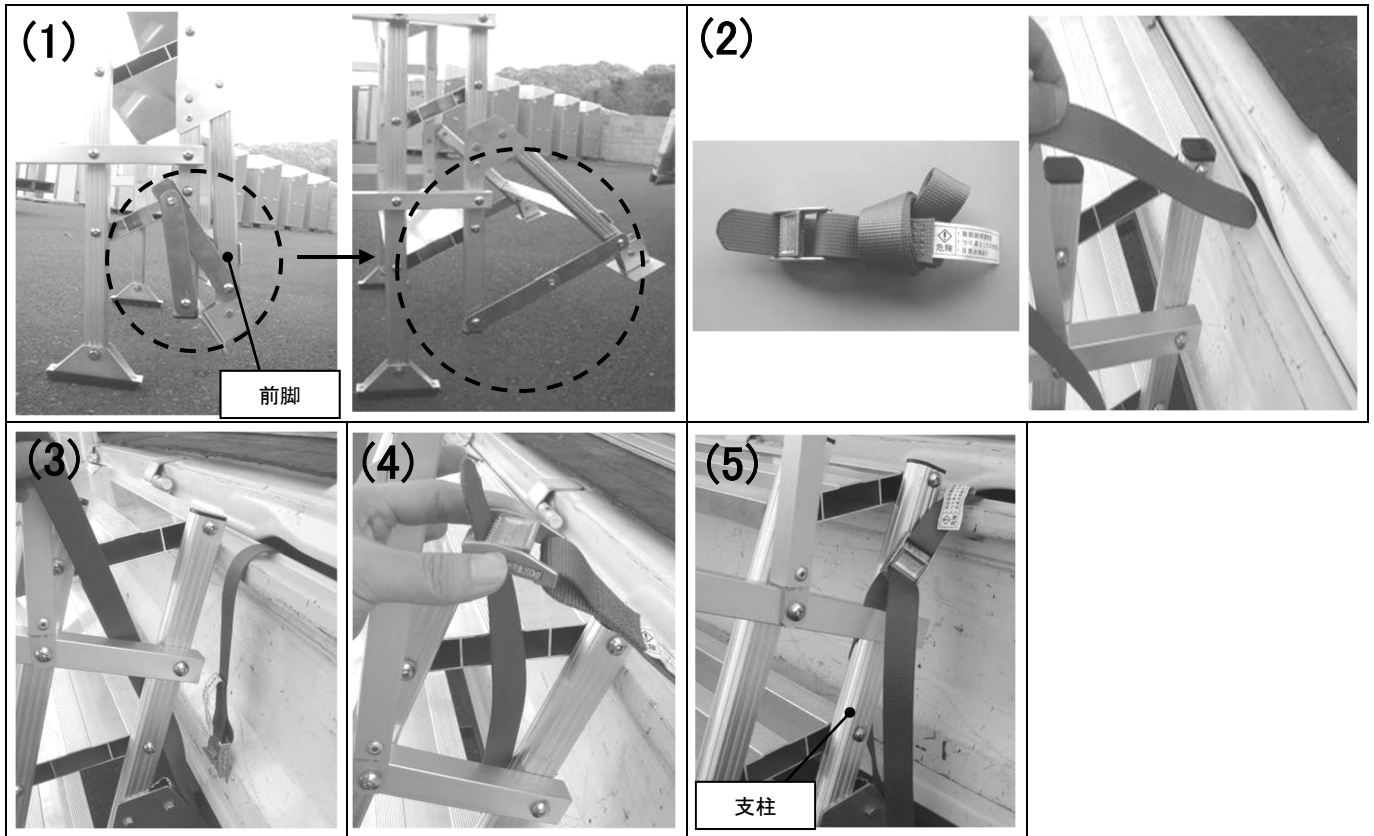
- ・ドアは内開きです。可動域を超えた無理な操作はしないでください。
- ・室内側のつまみを回すことで、施錠(表示:赤)・解錠(表示:青)することができます。
※非常時はコイン等で室外から解錠が出来ます。



Ⅳタラップの使用について

使用時

- ・タラップは単体で自立する構造となっておりますが、万一の転倒に備え、必ず下記作業を実施してください。
※付属品のベルトは消耗品です。使用前に必ず点検を行い、傷等のあるものは廃棄・交換してください。
- (1)タラップ本体の前脚を引き出し、タラップを使用位置に配置してください。
- (2)付属のベルトを使用してタラップのすぐ横のあおりと荷台の隙間からベルトを差し込んでください。
- (3)あおりの下側からベルトを回し、ステップ最上段の下を内側から外側に通してください。
- (4)バックル金具の下からベルトを通してください。
- (5)ベルトを引き、支柱を巻き込んで締め上げてください。
- (6)反対側の支柱も(2)~(5)の作業を実施してください。



積載時

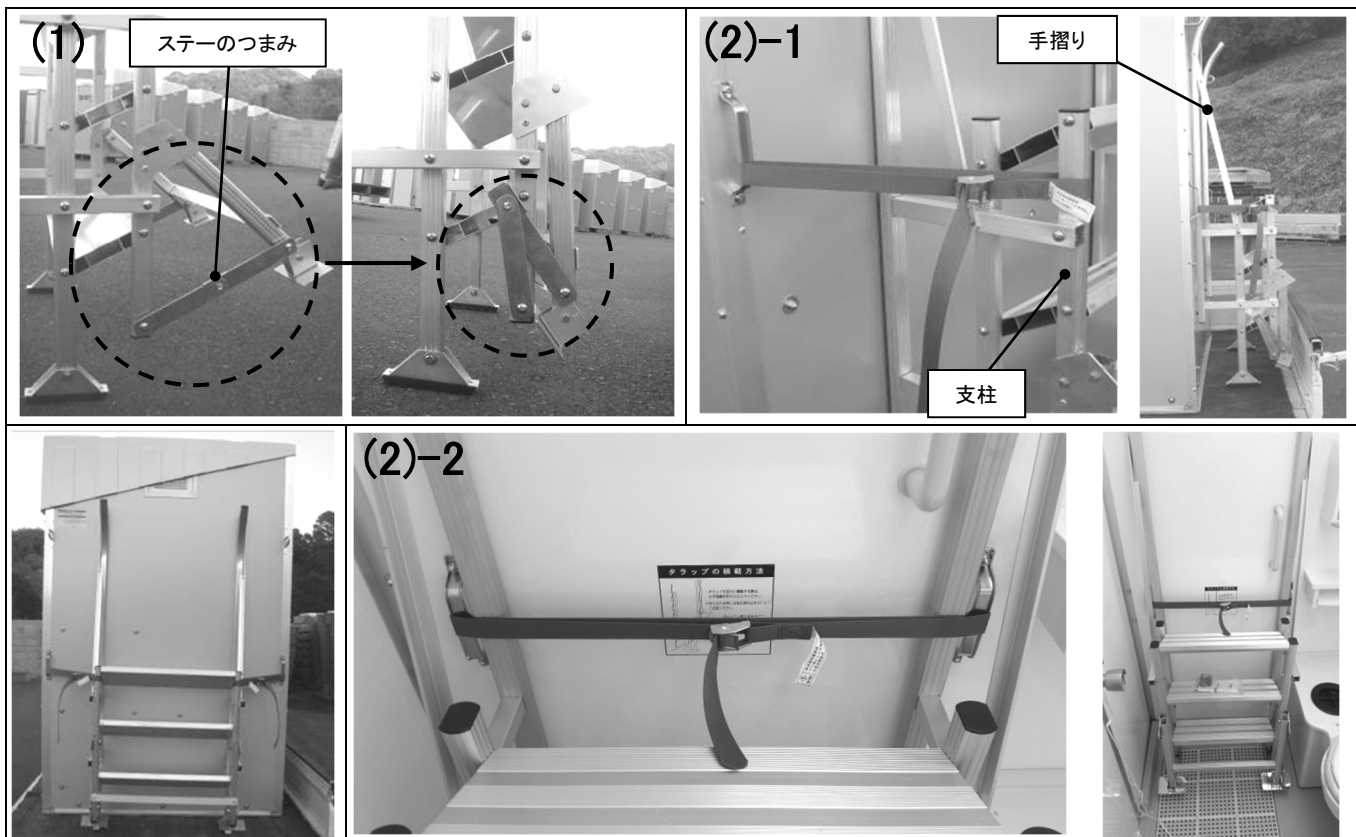
・タラップを積載する際は付属のベルトを使用し、下記作業を実施してトイレユニットの取っ手に左右両端を確実に固定してください。

※付属品のベルトは消耗品です。必ず使用前に点検を行い、傷等のあるものは廃棄・交換してください。

(1)タラップ本体のステーのつまみを引き上げ、前脚を折りたたんでください。その際、指や手を挟まないように注意してください。

(2)-1 軽トラックに積載したトイレユニットのトラック後方の壁パネルに手摺りを当て付けてタラップを積載してください。
トラック後方から見て手前にある支柱と、トイレユニットの取っ手に付属のベルトを通して左右同様に固定してください。※自立式タラップの場合

(2)-2 軽トラックに積載したトイレユニットの室内の左側面壁パネルに手摺りを当て付けてタラップを積載してください。
固定取っ手に付属のベルトを通して左右同様に固定してください。※自立式狭小タラップの場合



V屋根の開閉について

- ・屋根の開閉時は手を挟み込まないように注意してください。
- ・使用する際は、前面2ヶ所屋根留金具(パチン錠)を開錠すると自動的に屋根が持ち上がります。
- ・使用する際は、必ず屋根を開け、屋根前部に頭をぶつけないように注意して入退室してください。
※設置条件等により屋根が自動的に持ち上がらない場合があります。その場合取手を持ち屋根を軽く押し上げてください。
- ・強風や走行時は屋根正面中央の取手を持って屋根を下げ屋根留金具(パチン錠)を施錠して屋根を固定してください。

VIその他

- ・凍結の恐れがある地域の場合は、貯留水に凍結防止剤の使用、または貯留水を抜く等、現地にて必要に応じて凍結防止策を施してください。
- ・強い風雨雪ではドアの隙間等から室内に雨雪が入る恐れがあります。トイレットペーパー等が濡れないように保護してください。
- ・「照明(乾電池式)」、「便座除菌クリーナー」、「擬音装置(乾電池式)」をご使用の際には別途付属の取扱説明書を必ずお読みください(便座除菌クリーナー、擬音装置はCTLF4のみ該当)。※電池は別売りとなっております。
- ・ネームプレートは本体外部のドア枠に取り付けられています。使用状況に応じてネームプレートを反転させることで男/女の表示が差し替え可能となっております。差し替える際にはネームプレート上部の2本のねじを外しネームプレートを反転させ、再度ねじを取り付けてください(CTLF4のみ該当)。



ネームプレート: 男性表示 ネームプレート: 女性表示

4.お手入れ方法

- ・快適にご使用いただくために、定期的に清掃してください。
- ・清掃は柔らかい布やスポンジ等を使用してください。研磨剤や硬いブラシは使用しないでください。
- ・清掃する際は、中性洗剤にて洗浄後、洗剤が残らないように水拭きしてください。酸性洗剤、アルカリ性洗剤、重曹、ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。
- ・トイレユニット外側を洗う際は、室内へ水が入らないように注意してください。
- ・室内を清掃する際は、照明等の電気機器及びトイレトーパーが濡れないように注意してください。
- ・L3F4Wの小便器には自封式の排水トラップを採用しており、これにより便槽から上がってくる臭気を抑制しております。防臭効果を継続的に維持するため、定期的に小便器内に水を流してもらったとともに、3ヵ月を目安に以下の手順にてトラップ部を洗浄してください。

(1)小便器前面の点検口蓋を固定している蝶ナット2個を外し、点検口蓋を取り外します。

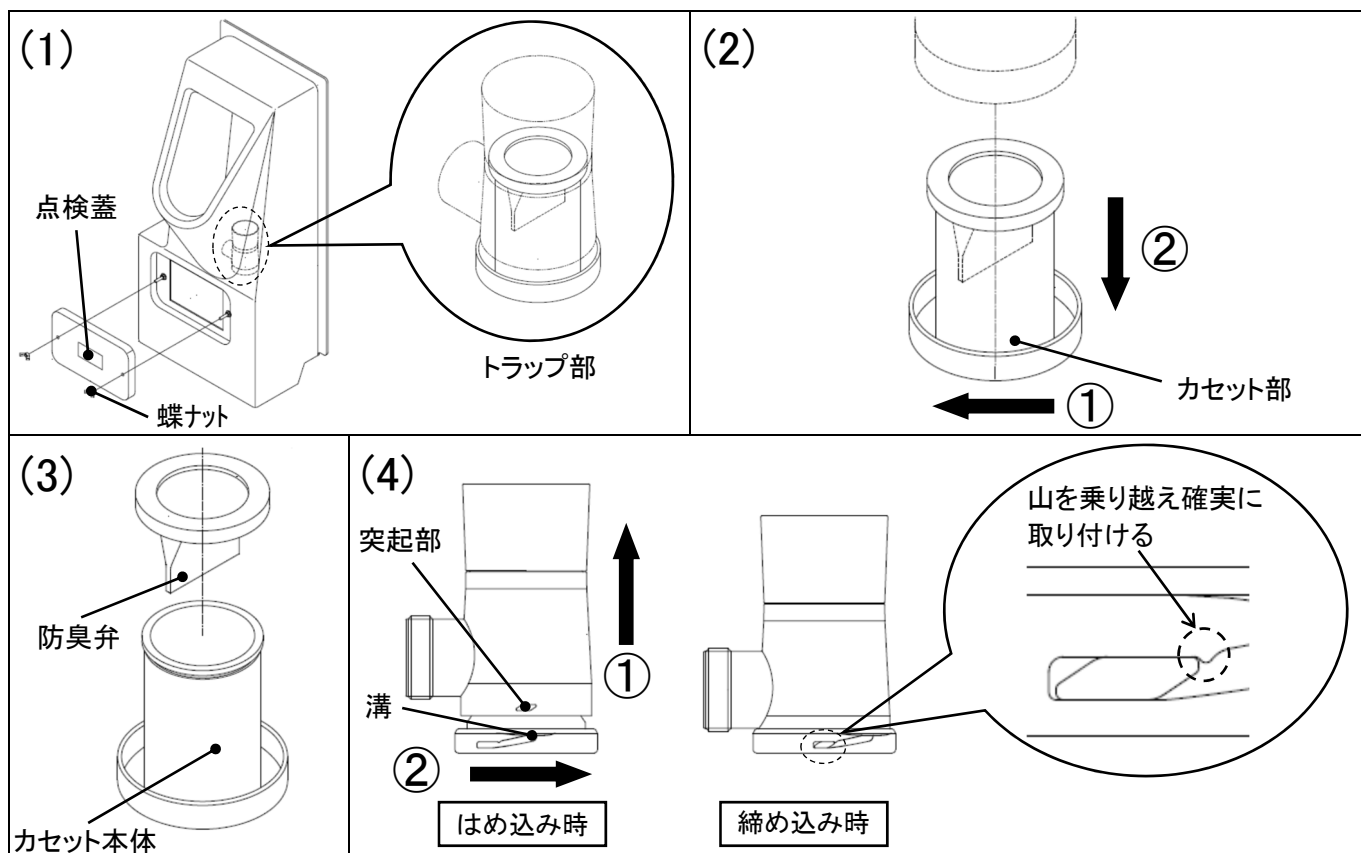
(2)点検口より手を入れ、トラップ部底部よりカセット部を左方向に回すと、カセット部を下に引き抜くことができます。

(3)カセット本体より防臭弁を取り外し、各部を中性洗剤等を用いて洗浄してください。

酸性洗剤、アルカリ性洗剤、重曹、ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。

(4)洗浄後、各部品を元通りに戻してください。カセット部の溝にトラップ本体の突起部を合わせ、カセット部を右方向に回し、カセット本体を確実に取り付けてください。

※カセット部(防臭弁)は消耗品です。洗浄しても落ちない汚れや劣化により、弁が自封されなくなった場合には十分な防臭効果を発揮することができなくなります。



5.仕様

※下記は標準装備になります。また、仕様により装備が異なります。

| 仕様 | L3F4W、CTLF4 |
|---------------------|----------------------------------------------------|
| サイズ(mm) (幅×奥行×高) | 1,470×1,160×1,783(屋根閉時) 1,470×1,160×2,064(屋根開時) |
| 重量(kg) | 約 140 (L3F4W)、約 135 (CTLF4) |
| 給水タンク容量(L) | 40 |
| 手洗タンク容量(L) | 10 |
| 便槽容量(L) | 120 |

| 本体 | 部位 | 材質 | 備考 |
|----|-------------|------------|------|
| | 屋根 | FRP | 採光仕様 |
| | 前面、側面、後面、ドア | アルミ、PS、FRP | - |
| | フロア | FRP | - |
| | 便器一体型便槽 | FRP | - |

- ・製品の特性上、ご納品後も各部材は収縮等が発生いたします。また、製品出荷時点においても季節的な要因により全体の寸法、部材の寸法が変動し、勘合部に隙間のバラツキが発生する可能性があります。
- ・本製品を廃棄する際は、法律や市区町村の条例に定める廃棄方法に従って、廃棄してください。

6.故障かな?と思ったら

○ポンプ式簡易水洗仕様

| 現象 | 想定される原因 | 対処方法 |
|-------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------|
| ポンプを作動させても洗淨水が出ない | ポンプ内部に空気が残っている | 水が出るまで繰り返しポンプを作動させてください。 |
| | 給水タンクに水が入っていない | タンクに給水し、水が出るまでポンプを作動させてください。 |
| ポンプが固くて押せない | 異物が詰まっている | 購入先にご連絡ください。 |
| | 洗淨水が凍っている | 完全に溶けるのを待ち、再度軽くポンプを押してください。※熱湯をかけないでください。 |
| 汚物が流れない (フラッパーが開かない) | 便槽がいっぱいになっている | 汲取り業者に汲取りを依頼してください。 |
| | フラッパーの真下にトイレト ペーパーが溜まって蓄積している | ポンプを最後まで押し込んで吐水させてください。堆積した際には水を掛けるなどの対応で崩してください。 |

○手洗タンク

| 現象 | 想定される原因 | 対処方法 |
|--------------------|----------|----------------|
| コックレバーを開けても洗淨水が出ない | 蓋が開いていない | 蓋を開けて使用してください。 |

上述の対処方法を実施しても改善されない時は、お買い上げの販売・工事店、最寄りの弊社営業所または弊社窓口までお問い合わせください。

7.保証規定

1.保証内容

取扱説明書、施工説明書に従って使用者が通常使用したにも関わらず、製造上の責任による使用上支障をきたす不具合があった場合は、本品質保証規定に従って無償修理をいたします。ただし製品個別に本書と異なる定めがある部分については、個別の定めが優先して適用されるものとします。

2.保証期間

お買い上げ日より1年間

3.免責事項

- ・本来の使用目的以外の使用や使用上の誤り、法令等に違反した使用に起因する不具合
- ・天災その他不可抗力(火災、暴風雨、水害、地震、落雷、雪害、噴火、公害、異常電圧等)に起因する不具合
- ・使用者が構造、機能を変更または改造したことに起因する不具合
- ・使用者が適切な維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- ・強度基準を超えた条件下での使用に起因する不具合
- ・設置や保管場所周辺の自然環境や使用環境などに起因する以下を含む不具合
 - ▶ 海岸付近による塩害や融雪剤等による塩害、温泉地等での腐蝕性ガス、酸性雨等による腐蝕
 - ▶ 大気中の煤塵や砂塵・金属粉や周辺工業活動等に伴う腐蝕性ガス等による腐蝕
 - ▶ 動植物の影響や薬品付着、周辺で発生する振動等による損傷
 - ▶ 凍結による破損
- ・強い衝撃や転倒、落下、無理な動作による不具合
- ・暴動、犯罪など不当な行為や破壊行為による不具合
- ・経年に伴うメッキや塗装の剥離、キズ、摩耗に起因するサビ腐蝕等の不具合
- ・経年に伴う塗装劣化や表面の色あせ等の外観上の変化
- ・軟弱地盤や強風地域など設置個所の条件に適した基礎施工や固定が行われなかったことによる不具合
- ・機能上で支障のない音、揺れ、臭い、硬軟など感覚的な現象
- ・付帯する設置工事、水道工事、電気工事など製品本体以外に起因する不具合
- ・当社が製造および施工していない建造物および設備等に起因する不具合
- ・電球、乾電池、パッキン類、洗浄剤等の消耗品
- ・製品の故障に起因する機械、設備、器具の損傷や機会損失、逸失利益などの二次的損害
- ・納品までの輸送などの取扱い上で致しかたなく発生する軽微なキズなど製品特性に起因する現象

4.無償修理の依頼方法

・無償修理を依頼される場合は、保証書をご提示の上、お買い上げいただきました販売店または工事店にご依頼ください。

・保証書のご提示がない場合(※)や保証書の内容に書き換えがある場合は無償修理をお受けできません。

※:保証書がない場合でも購入履歴が当社で確認できる場合は無償修理の受付をさせていただきます。

5.その他

- ・本品質保証規定および保証書は日本国内においてのみ有効です。海外に持ち出された場合はその時点で保証対象外となります。
- ・保証書は本品質保証規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ・保証書にご記入いただく住所などの情報は保証期間内およびその後のサービス活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

【メモ】

【メモ】

- 製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。
- 本説明書を紛失・破損された場合は、弊社までご連絡ください。
直ちにお送りいたします。万一の紛失に備え、下記連絡先を
あらかじめ控えておいてください。
- その他ご不明な点等ございましたら、下記の弊社窓口までお問い合わせください。

株式会社 ハマネツ カスタマーセンター

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-6-4 新大崎勸業ビルディング 4F
TEL:03-4329-1000 FAX:03-4329-1012

Hamanetsu
<https://www.hamanetsu.co.jp/>